

2024年、世界経済を左右する選挙が相次ぐ

ポイント① 主要国・地域の選挙結果に注目

2024年は、多くの国・地域で大統領や議会の選挙が行なわれます。23年はウクライナ侵攻が続き、イスラエルで新たな紛争が勃発したものの、原油相場やインフレは落ち着きを取り戻し、サプライチェーンも改善に向かいました。世界経済はコロナ禍という混乱から抜け出したようです。一方、24年は選挙イヤーと言われるように、大統領選や国政選挙などが多くの国・地域で行なわれます。これにより、新たな混乱が発生しないかと世界では注目されています。

ポイント② 台湾総統選、議会選挙が実施

選挙イヤーの口火を切る台湾総統選が1月13日に行なわれ、与党・民進党の頼氏が当選しました。一方、同時に開催された議会選挙では民進党が過半数を割り込み、少数与党となりました。有権者の多くは中国との関係だけでなく、インフレや所得格差など国内の経済問題にも目を向けたようです。台湾は世界的に重要な半導体の生産拠点でもあるため、世界の半導体市場への影響も大きく、今回の選挙が注目されていました。頼氏が正式就任する5月以降の動向にも注目が集まるでしょう。

ポイント③ 米大統領選で政権交代となるか

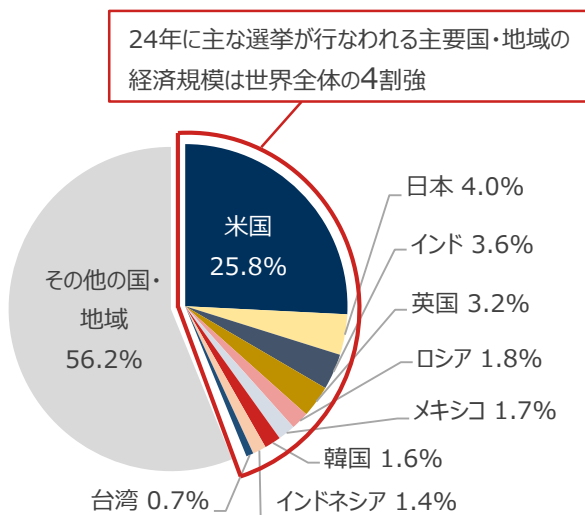
24年に主な選挙が行なわれる主要国・地域の経済規模は、世界全体の約4割強を占めており（23年時点）、特に最大の経済規模を誇る米国の大統領・上下院議員選挙は重要です。対内的には経済や財政政策、対外的にはウクライナへの財政支援などに影響が出るかが懸念されます。現地時間15日には、共和党候補者を選ぶ予備選挙がアイオワ州を皮切りに始まります。トランプ前大統領がどの程度の支持を集めるのかなどが注目されます。

2024年の主要国・地域の主な選挙日程

	国・地域		国・地域
1月	台湾総統選	4-5月	インド総選挙
2月	インドネシア大統領選	6月	メキシコ大統領・上下院議員選挙
3月	米国大統領予備選挙スーパーチューズデー	9月	日本自民党総裁選、公明党代表選
3月	ロシア大統領選	11月	米国大統領・上下院議員選挙
4月	韓国総選挙	25年1月まで	英国総選挙

日本は与党における総裁・代表選、日本以外は国政選挙。
(出所) 各種情報より野村アセットマネジメント作成

名目GDP（国内総生産）の構成比率



上記は2023年時点、IMFによる予測。米ドルベース
(出所) IMF World Economic Outlook Database, October 2023より野村アセットマネジメント作成

重要イベント	日程	内容
	1月17日	中国GDP（23年10-12月期）
	1月25日	米GDP（23年10-12月期）
	1月30日	ユーロ圏GDP（23年10-12月期）